

# 令和3年度 学校評価について

## 学校教育目標 「夢や希望を持ち、心豊かでたくましい児童の育成」

1 思いやりのある子ども 2 しっかり勉強する子ども 3 体をきたえ、がんばりのきく子ども

### 1 評価の改定

昨年度、令和元年度の学校評価を検討して、一部内容を修正しました。修正は以下のとおりです。

#### (1) 評価項目

評価項目に関しては、一番大切な大切な「児童は、学校へ来るのを楽しみにしていると思いますか。」という問いを最初に行い、以下、(1)生活面(2)学習面(3)社会性(4)自己の内面に関する項目を各3問設定しました。さらに、保護者、教職員に関しては、学校運営や組織に関する設問を追加し、全体を20問(枝番あり)としました。

また、それぞれの質問に対して、児童・保護者・教職員の意識がどうなっているのかを比較できるようにしました。

#### (2) 評価区分

すべての対象者に対して、肯定的か否定的な判断をするため、3段階区分から4段階区分としました。

変更前 3段階 A・・・あてはまる B・・・どちらともいえない C・・・あてはまらない

変更後 4段階 A・・・よくあてはまる B・・・あてはまる C・・・あまりあてはまらない D・・・全くあてはまらない

※ともに、保護者に関しては「わからない」という選択肢を設定しました。(ただし、割合からは除外)

※児童についても、「どちらともいえない」という選択肢をなくし、肯定的か否定的かの判断を行わせました。

### 2 学校評価結果

(ここでの文言は「教職員」に向けたものとなっています)

凡例 肯定的なもの◎:85%以上肯定(AまたはB)、否定的なもの△:20%以上が否定(CまたはD)

番号	評価項目	児童	保護者	教職員
1	学校へ来るのを楽しみにしていると思いますか。	82%	84%	◎
2	周りの人によくあいさつをすることができていると思いますか。	△	△	△
3	運動が好きで、体力の向上に努めていると思いますか。	△	△	△
4	好き嫌いをしないで規則正しくきちんと食事をしてと思いますか。	△	△	△
5	児童の学習意欲を引き出し、学習内容の理解と定着を図ることができていますか。	81%	△	◎
6	英語(外国語)活動で、児童の学習意欲を引き出し、楽しく学習ができるように取り組んでいますか。	◎	△	◎
7	読書活動やドリルタイムをきちんと設定して、児童が積極的に取り組むように取り組んでいますか。	◎	△	◎
8	児童が周りの人のことを考え、友達と仲良く生活できるよう働きかけをしていますか。	◎	◎	◎
9	児童が社会のルールや学校のルールを守るよう指導をしていますか。	◎	◎	◎
10	交通安全の重要性を指導し、児童が安全に気をつけて登下校していると思いますか。	◎	◎	△
11	児童の自己肯定感を高めるため、一人一人に声をかけるなど支援に努めていますか。	△	◎	◎
12	児童の自己有用感を高めるために、一人一人に役割を与えるなど支援に努めていますか。	◎	◎	◎
13	児童が何事に対しても粘り強く取り組むことができるよう「 <u>勇気づけ</u> 」を行っていますか。	◎	△	◎

<学校運営や組織としての取り組みに関する評価項目>

14	豊かな心を育むために、積極的に道徳教育に取り組んでいますか。		◎	◎
15	児童たち一人一人の様子に目を配り、いじめのない仲間づくりに取り組んでいますか。		◎	◎
16	特別に支援の必要な児童へ、適切に支援を行っていると思いますか。		◎	◎
17	児童や保護者の相談や問い合わせに対し、親身に対応していますか。		◎	◎
○	学校は、職員共通理解のもと、学校教育目標の具現化に向けて努力していると思いますか。			◎
16 a	学校は、特別に支援の必要な児童へ、適切に支援を行っていると思いますか。			◎
17 a	学校は、緊急時にどのような対応をするか保護者にわかりやすく説明していると思いますか。			◎
17 b	学校は、生徒指導や教育相談、保護者対応等に対し、組織的に対応できていると思いますか。			◎
18	学校は、児童の基礎学力の定着を図り、わかりやすい授業を行うよう研修を進めていると思いますか。		◎	◎
19	学校は、施設・設備の整備を行い、安全な環境を保つ努力をしていると思いますか。		◎	◎
20	学校は、教育活動に保護者や地域の人材を活用していると思いますか。		◎	◎

3 全体の考察

設問1「学校へ来るのを楽しみにしていると思いますか。」については、肯定的な回答が児童、保護者とも基準の85%にわずかに及びませんでした。(児童82%、保護者84%)様々な要因が考えられますが、今後とも充実して楽しんで来られる学校を目指していきます。

児童については、〈生活面〉では「否定的な回答」となっています。その他の項目については、「肯定的な回答」が多いです(7/9)。設問11(自己肯定感)に関しては、21%が否定的な回答でしたが、昨年度24%より、3ポイントアップしています。(なお、この設問に関しては、教職員は全員(100%)が「自己肯定感」を高める指導をしていると回答しています)

保護者については、児童にした質問のうち「肯定的な回答」(5/13)「否定的な回答」(7/13)となっています。昨年と同様、自分の子どもに関して、より厳しい評価となっています。なお、学校運営全般に関しては、すべてが肯定的な回答でした。

教職員については、児童にした質問のうち「肯定的な回答」(9/13)「否定的な回答」(4/13)となっています。生活面および(交通安全)で「否定的な回答」であり、学校運営全般に関しては、すべてが肯定的な回答でした。

今回、生活面の3項目(あいさつ、運動、好き嫌い)に関しては、3者とも否定的な回答となりました。それぞれに対して、次年度は各委員会より働きかけを行い、改善していきます。

なお、三者の評価が解離しているものは、次のとおりでした。(考察は、次項4 各項目ごとの考察)

- a 児童の評価が高いもの
  - a-1 保護者・教職員が低いもの……なし
  - a-2 保護者が高く、教員が低いもの…設問10
  - a-3 保護者が低く、教員が高いもの…設問6、設問7、設問13
- b 児童の評価が低いもの
  - b-1 保護者・教職員が高いもの……設問11
  - b-2 保護者が高く、教員が低いもの…なし
  - b-3 保護者が低く、教員が高いもの…なし

評価に解離のあるものは、指導法を変えたり、適切な評価になるよう保護者に報告や連絡が必要だと考えます。今後とも、ホームページ、学校だより、学年・学級だよりを充実させ、保護者・地域との情報共有を図っていきます。

#### 4 各項目ごとの考察

##### (0)「児童は、学校へ来るのを楽しみにしていると思いますか。」

この設問に関しては、肯定が教職員96%、児童82%、保護者84%となっています。児童に関しては、学年による差も大きく、アンケートを取ったときの気持ちが大きく関わる学年、学級もあるように感じました。今後、児童・保護者に関して、どういったことが否定につながっているか、学級ごと検討を行い、今後の改善としたいと考えます。

##### (1)生活面

生活面の3つの設問に関しては保護者、教職員ともすべてに否定的な回答が多かったです。児童の行動に満足は少なく、より高いものを望んでいると考えられます。設問2「周りの人によくあいさつをすることができていると思いますか。」及び設問4「好き嫌いをしないで規則正しくきちんと食事をしていると思いますか。」については、昨年度の評価は児童の評価は高かったですが、「どちらとも言えない」を選択肢からなくした結果、否定的な回答に傾きました。設問3「運動が好きで、体力の向上に努めていると思いますか。」については、コロナ禍の影響もあり、運動の機会が縮小された影響を感じます。次年度の課題として取り組んでいきます。

##### (2)学習面

設問5「児童の学習意欲を引き出し、学習内容の理解と定着を図ることができていますか。」に関しては、教職員の評価は高いですが、児童の評価はもう一歩でした(81%)。自主的な学習が進められていないと考える児童が一定数います。設問6「英語(外国語)活動で、児童の学習意欲を引き出し、楽しく学習ができるように取り組んでいますか。」及び設問7「読書活動やドリルタイムをきちんと設定して、児童が積極的に取り組むように取り組んでいますか。」に関しては、児童・教職員の評価が高く、保護者が低い状況です。学校での取組を保護者に伝えるとともに、家庭での児童の様子を把握し改善していきたいと考えます。なお、設問6に関しては、昨年度教職員の否定的な回答が21%でしたが、今年度12%と大幅に改善しました。

##### (3)社会性

これらの設問に関しては、三者とも概ね高い評価でした。唯一設問10「交通安全の重要性を指導し、児童が安全に気をつけて登下校していると思いますか。」については、教職員が「否定的な回答」23%となり、昨年度に続き高い状況でした。登下校に関しては、より継続して適切な指導を行っていききたいと考えます。

##### (4)自己の内面

これらの設問に関して、教職員はどれも高い評価でした。児童の評価の低いもの(否定的21%)は、設問11「児童の自己肯定感を高めるため、一人一人に声をかけるなど支援に努めていますか。」(児童に関しては「自分にはよいところがあると思いますか」)および保護者の評価の低いもの(否定的37%)は、設問13「児童が何事に対しても粘り強く取り組むことができるよう「勇気づけ」を行っていますか。」(保護者に関しては「お子さんは、大変だと思うことも粘り強く取り組むことができると思いますか。)」に関しては、昨年度も同様の評価でした。「自己肯定感を高める」、「物事に粘り強く取り組む」については、今後とも重要課題と位置づけをして、継続的に取り組んでいきます。

##### (5)学校運営や組織に関すること

この設問は、保護者、教職員に対して行ったもので、そのすべてが肯定的な回答でした。学校運営全般に関して「良好な状態」であると考えられます。その中で保護者が「わからない」との回答が多かったものは、設問16「特別に支援が必要な児童へ、適切に支援を行っていると思いますか。」です。本校の特別支援教育への取組を定期的に紹介するなど、保護者にも広く伝えていきたいと考えます。今後とも本校の取組を保護者、地域にしっかりと知っていただき、三位一体となった学校運営を行っていきます。

#### 5 昨年度との比較(教職員について)

教職員の学校評価については、少人数であるため、一人の評価が全体の評価に大きく影響します。それを踏まえて、有意な変化があったものは以下の通りです。

##### a 昨年より向上が見られたもの

設問12「児童の自己有用感を高めるために、一人一人に役割を与えるなど支援に努めていますか。」

設問14「豊かな心を育むために、積極的に道德教育に取り組んでいますか。」

☆設問〇「学校は、職員共通理解のもと、学校教育目標の具現化に向けて努力していると思いますか。」

##### b 昨年度より評価が低かったもの

設問2「周りの人によくあいさつをすることができていると思いますか。」

設問3「運動が好きで、体力の向上に努めていると思いますか。」

設問4「好き嫌いをしないで規則正しくきちんと食事をしていると思いますか。」

特に、今年度に大きな差となって表れたのは、上記のうち☆をつけた教育目標の具現化です。コロナ禍においては、子どもたちの命を守り、教育活動を継続するという共通理解し、一丸となって取り組めたことは大きな成果でした。次年度においても、今回の評価を受けて一つ一つ見直しを図り、充実した学校運営を行っていきます。

## 6 保護者からの意見・要望等(抜粋)

- コロナ禍で制限があるなか、校外学習など工夫し、実施していただきありがとうございます。
- コロナ対策の3部制運動会は、混雑も場所取りもなく、ゆっくり観られるので良かった。是非今後も入替え制で実施して欲しい。
- 今年度も、難しい状況の中、行事や授業参観などを実施してくださり、ありがとうございます。学校での我が子の様子を見るのができてよかったです。
- ホームページも新しくなり見やすくなりました。四和ニュースも頻繁に更新していて、楽しみに拝見しています。
- 毎日楽しく通えています。先生が大好きで、一緒に遊んでもらったことを楽しそうに話してくれます。
- 良いところを見逃さず、先生に認めて頂けるため、自信に繋がっています。
- 子ども達は、ワクチン接種対象外であり、感染してしまうと、周囲にひろがりやすい状況だと思います。引き続き、感染対策に留意しながら行っていただきたいです。
- 学校行事に関しましてはこのコロナ禍に於いて適切な判断で行っていただけていると思います。天候などにもご配慮頂けているので、これからもご尽力いただけたらとおもいます。
- 進んで挨拶ができない児童が多い。コミュニケーションの基本なのでしっかりと大人が見本となり子供達に教えていかなくてはいけないと思います。
- 集団指導になりがちな学校指導の中でも個人の集まりとしてクラスに向き合ってください先生に恵まれ、伸び伸びと学校生活を送っているようです。ありがとうございます。
- 感染状況が落ち着かない中、運動会や授業参観を換気やアルコール消毒などの感染対策をしっかりとされた上で見学させていただき、子どもの成長やクラスの雰囲気などがよく解かり、子どもとの会話も広がりました。
- 児童側の事情にご配慮頂き、親身になってくださっていると思います。担任の先生以外にも事情を把握していただき大変助かっています。
- 先生方にはよくやっていただいて感謝しています。先日、友達から仲間外れにされている、いじめられてると感じていると泣くことがありましたので、見守っていただけると幸いです。
- 自転車のルール(昔は低学年は庭や公園、中学年は学区内、高学年は学区外)などの決まりを作っても良いのかと思います。何かあってからでは怖いので。
- 授業参観では、道徳と国語以外にもいろいろな教科が見たいです。
- コロナ禍で難しいのは承知しておりますが、行事や学年活動など、授業以外に、子どもが成長を実感できる行事が復活するとういなと思っています。
- 子どもが自分で考え、実行する力をつけていけるような活動ができるとういなあとと思います。国会とはいかなくても市議会や県議会など見学し、自分たちとどのように関わっているか考えられるとういんです。
- 感染対策をしながらの行事で、宿泊を体験できず残念ではありますが、先生方のご配慮に感謝申し上げます。
- 道徳の授業は1つの答えに子供たちを導くのではなく、子供たちのそれぞれの意見をみんなで聞き、何故そう思ったのか、自分と違う答えのお友だちの考えを聞いたりした方がよいと思いました。
- クラスで何か1つのことをやり遂げるとうい行事もあってもいいのかと思いました。(クラス長縄大会、クラスドッチボール大会、クラスリレー、クラス音楽祭など)

## 7 学校評議員からの意見・要望等

- コロナ禍で児童とその家族の状況を把握しながらの学校運営、教職員の負荷も大変だと思いますが、「学校に行くのが楽しみ」にしていることが学校評価にも表れております。何とか休校にならないよう運営を望みます。
- コロナ禍の学校運営は大変な事が多いと思いますが、ほとんどの児童が学校が楽しいと思っており、先生方の努力のお陰だと思います。ただ、18%が否定的な回答をしていますので、その児童に寄り添ってあげてください。
- 今年度の学校評価は、肯定的か否定的かの判断ですので、△(否定的)が目立っています。項目1(「学校へ来るのを楽しみにしていると思いませんか。」)については、民生児童委員の中でも登校を渋っている子の話を聞きます。不安定な部分があると思いますので、心のケア、見守りをお願いします。また、生活面が否定的な回答に傾いたのは残念です。ちょっとした声かけでも変わってくると思いますので、先生方から率先した言動をお願いします。
- ここ5年ほど、さる保育園の降園時の「セーフティ・サポート」として門前に立っているのですが、毎日何人かの小学生が通過します。その子どもたちが最近突然「こんにちは」というようになりました。(先生方のご指導でしょうか。)
- 学校、保護者、子どもの三者での評価の食い違いについて  
学習面 項目7(英語(外国語)活動)では、小学校での位置づけが固まっていな現在では、様々な意見が出るのは当然であり、それを蓄積し、整理し、小学校での「目的」に輪郭を提案し、子どもたちは異なった文化の違いとそれを知る喜びを身につけてほしいと思います。評価を急ぐ必要はまだないのでは？  
社会性 項目10(交通安全)では、教職員の評価が低いのは、責任感の然しむるところに端を発すると考えます。  
自己の内面 項目11(自己肯定感)、13(粘り強さ)については、叱る、励ます、褒める、ヒントを与えるなどプロである教師が全力投球する場面です。(素人の私も叱るときには「怒る」のはNGといつも反省しています)